



森小っ子

令和4年度
第3号



教育目標 「進んでやりぬく、たくましい子ども」

※森町小HPのURLは、<https://www.city.sanjo.niigata.jp/section/morimatisyo/>

ゆくにこみちによらず
「行不由徑」

絆と学びを深める森小っ子

校長 山宮 尚

今年度は昨年度とは違い、1学期の行事を予定通りに実施しています。感染症の状況がだんだん判明してきたことに伴い、厳しい規制も解かれ始めている中での実施です。これはひとえに保護者や地域の皆様の御協力によるお陰です。いつ、どこで、誰が、どういう状況になってもおかしくない毎日ですが、延期や中止をすることなく（24日は6年生全員が佐渡の修学旅行から帰ってきました！）学校の教育活動を計画的に推進できることは大変ありがたいことです。心より、感謝申し上げます。

5年生自然体験学習

しただの郷学園小学校5校による5年生62人で行ってきました。主な活動はオリエンテーリング、キャンプファイヤー、木工でした。一番盛り上がったのは3年ぶりに実現したキャンプファイヤー。出し物では、62人全員で楽しもう、支え合おう、盛り上げようと気持ちを揃え、燃え上がる井桁を囲み存分に楽しみました。私も隊長として同行しましたが学園内での友達が増え、来年度につながる意義ある1泊2日となりました。



水泳 中学年終了！



2年続けての水泳学習です。24日（金）で中学年は4回泳ぎ、終了しました。写真は担任の号令の下、一斉にバタ足を始めた場面です。互いに距離を取りながら行動することに慣れ、授業の度に泳力の向上が見られます。体が沈んでもやがて浮いてくることが分かってくると息継ぎのタイミングをつかめます。それを体得するのが中学年の目標です。トライするたびに上達が見られるので、子どもたちは「もっとやりたい！もっとやろうよ～！」の大喝でした。苦勞をしてできるようになった喜びを味わう子どもはどんどんやる気になっていきます。

ウォークラリーin 森町



3年ぶりに縦割り班による校外かもしか活動を行いました。子どもたち、とりわけ高学年にとっても久しぶりの活動でしたから、今年度は平地で約8kmのコースを組みました。コースについては、次ページの見開きを御覧ください。

11人編成による8つの班で、6名のボランティアの方々からも一緒に歩いていただきました。沿道や家々から声を掛けてくださる方がいて、地域の方と手を振り合っている姿もありました。その姿を目の当たりにして、「子どもたちはあたたかい森町地区で育っているんだな。教室で見る顔とはまた違ったいい顔を見れてよかったな。」と思いました。高学年はリーダーシップを発揮し、低・中学年はフォロアーシップを経験できた行事だったと思います。魅力いっぱいの森町で、体験活動をとおして絆と学びを深めている森小っ子88人です。